特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 230 号]　令和２年５月３日発行

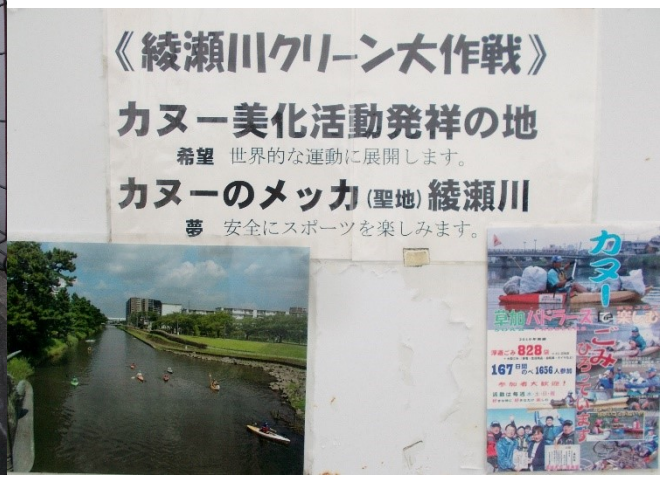
□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

万が一に備え救命浮環常設！

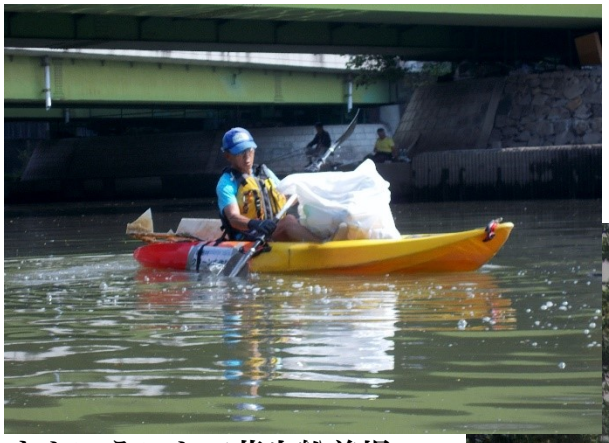
５月１日(金)、綾瀬川での水難救助を想定し、クラブハウス前入口扉に救命浮環(10mロープ付き)と 5mのフック付き竹竿を常設しました。

３年前の３歳男児転落死、２年前の草刈り作業員の転落死がありました。１秒でも早く救命浮環や竹竿で救助ができたら・・・という強い思いで設置し、通りがかった人が、だれでも自由に使えるようにしました 。

先日、掲示板を親子が眺め、「綾瀬川がカヌーのメッカに・・！」「ゴミ拾いのおかげで綺麗になってきたね ！」と話し合っている姿を見てほのぼのとした温もりが伝わってきました。嬉しいですね。



土日/二日間で 12 袋回収！



5 月 2 日(土)、木村、古田、大原、井坂、中島の 5 名が自主活動で 5 袋の回収と、自転車 2 台、椅子 1 脚、3m丸太 1 本、カラーコーン 3 本などの成果でした。

4/29 の金明町ガマ自生地のゴミ拾い活動の続きということで蒲生船着場へ向かいましたが、潮の引きが速く浅瀬になっていてガマの自生地での活動が出来ませんでした。みんなで上陸し、コンビニで休憩をとったあと、土手沿いに放置された自転車や仮置きしていた丸太類をカナディアンカヌーへ載せて持ち帰りました。この日、村田氏は時間差自主活動で 1 袋の成果でした。

5 月 3 日(日)、古田、矢部、大原親子、中島の 5 名が蒲生船着場まで 2ｋｍ区間の活動で 6 袋の成果でした。引き潮で上流に向けての活動は大変な労力ですが、全員頑張りました。古田氏は 90ℓ袋で 2 袋分、大原親子の一晃君もタモ網でお手伝い、矢部氏は金明町土手沿いに投棄された泥まみれの自動車スパイク、物干し竿などを回収しました。

非常事態宣言が 1 か月延長。私たちは**「三密」**を避けながら活動をしました。